

就職氷河期世代支援事業 実施報告

資料2

令和3年度より国から「地域就職氷河期世代支援加速化交付金」の交付を受けて、就職氷河期世代支援における事業を実施しました。

【実施事業】

■相談窓口設置・相談対応 令和3年度～令和6年度

商工観光労政課内に就労支援相談員を配置し、就職氷河期世代に特化した相談窓口を設置することで、就労および定着に向けたきめ細やかな対応を行いました。

就職氷河期世代	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談者実人数	46人	44人	25人	40人
新規相談者実人数	31人	13人	14人	25人
新規就労実人数	7人	7人	5人	11人

■就職氷河期世代への実態調査 令和3年度

対象世代(34歳～50歳)人口約1.8万人のうち、1割程度をランダムに抽出し、就労経験、雇用形態、阻害要因の有無、必要とする就労支援策等についてアンケート方式の調査を行いました。調査結果から今後の就労支援事業を検討しました。

調査対象 1,800 人 回収総数711人(回収率39.5%)

■事業所アンケート 令和4年度

市内事業所に対し、雇用実績や今後の雇用計画、雇用需要(求めるキャリアや年齢層等)、雇用に係る課題、就職氷河期世代の就労支援への協力有無、事業所向けの各支援制度における認知度等についてアンケート方式の調査を行いました。

調査対象 447 社 回収総数174社(回収率38.9%)

■事業所開拓 令和4年度～令和6年度

事業所アンケートの結果を活用し、事業所に対してより詳細なヒアリングを実施しました。事業所の抱える課題を把握したうえで、職場見学や職場体験などの受け入れ協力を呼びかけるとともに、就職氷河期世代の雇用に関する各助成金等について情報提供を行いました。

ヒアリング実施事業所42社 →職場見学可能41社・職場体験可能14社

■就職セミナーの開催 令和4年度

「いまこそ自信をつけよう！ 35歳からの就職セミナー」を開催しました。セミナー1では「職業訓練の魅力と、スキル取得で自信をつける」をテーマに、セミナー2では「自己理解を深め、自分の強みをみつける」をテーマに、それぞれ講師をお招きしてご講演いただきました。12名の参加がありました。

■資格取得支援補助金の活用 令和5年度より交付金対象

就職氷河期世代への実態調査において、不本意ながら非正規で働く方の約3割が資格等を学びたくても金銭的余裕がないと回答したことを受け、既存制度を一部改正(補助上限を5万円→8万円)することで、栗東市資格取得支援補助金制度の活用の推進と、支援の充実を図りました。

就職氷河期世代	令和5年度	令和6年度
人数	3人	6人
補助金額	117,000円	173,000円

【今後について】

国からの「地域就職氷河期世代支援加速化交付金」は令和6年度限りで終了となり、令和7年度以降は新設される「社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金」に統合されることになりました。

■就職氷河期世代支援事業(令和3年度～令和6年度)

→就職氷河期世代を対象とした支援

■社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進事業(令和7年度～)

→孤独・孤立状態は人生のあらゆる段階において何人にも生じうるものであり、就職氷河期世代を含む中高年層をはじめとする幅広い世代や属性の方の孤独・孤立状態の予防や脱却に向け、幅広い社会参加・活躍支援等を後押しする支援